

- 8月の米ISM製造業景気指数は市場予想を上回り、1年9ヵ月ぶりの水準を回復。生産指数が約2年半ぶりの水準へ上昇したほか、新規受注指数は約16年半ぶりの高水準を記録。
- こうした内容は、米鉱工業生産指数上昇の流れが継続していることを示すものと思われる。ただし、雇用指数は13ヵ月連続で50の水準を下回っていることから、今後の雇用動向には留意が必要。

米製造業景気指数は1年9ヵ月ぶりの水準を回復

1日に発表された8月の米供給管理協会（ISM）製造業景気指数は56.0と、市場予想の54.8（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）を上回り、2018年11月以来、1年9ヵ月ぶりの水準を回復しました。同指数は生産や新規受注、雇用など幾つかの項目について製造業の購買担当者に対しアンケートを行い、その回答結果を集計したもので、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気縮小とされています。

内訳をみると、景気指数を構成する5つの指数のうち、生産指数は2018年1月以来、約2年半ぶりの水準へ上昇しました。また、新規受注は67.6と、市場予想の58.8を大きく上回り、2004年1月以来、約16年半ぶりの高水準を記録しました。

先に米連邦準備理事会（FRB）が発表した7月の米鉱工業生産指数のうち、製造業が前月比+3.4%と、市場予想の同+3.0%を上回り、3ヵ月連続で上昇しました。8月のISM製造業景気指数の生産や新規受注指数の上昇は、こうした流れが継続していることを示すものと思われます。

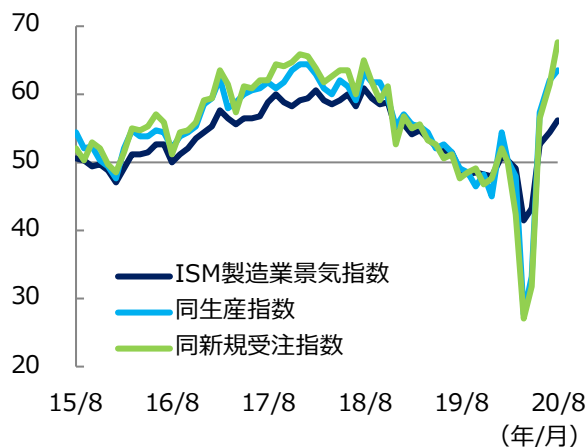
雇用指数は13ヵ月連続で50の水準を下回った

このほか、在庫指数は2ヵ月連続で低下し、2014年1月以来、約6年半ぶりの低水準となりました。一般的に、在庫の減少は将来の生産増加につながるとされています。

供給業者の納入指数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて今年4月に1974年以来およそ46年ぶりの高水準に達しました。納入指数の上昇は遅延を表します。6月以降の動きには落ち着きが見られ、正常化に向かいつつあることを示すものと考えられます。

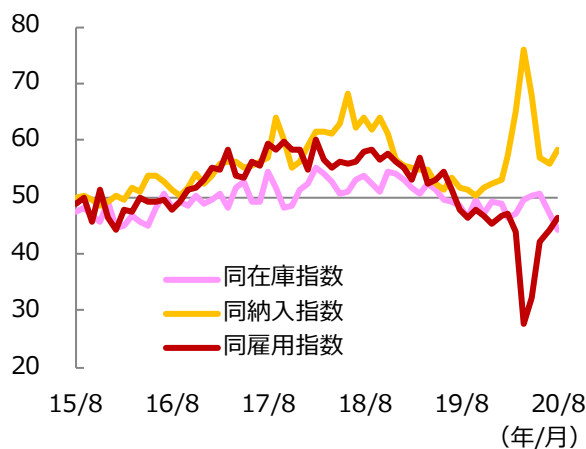
ただし、雇用指数は前月から上昇したものの、13ヵ月連続で50の水準を下回っていることから、今後の雇用動向には留意が必要です。

ISM製造業景気指数の推移（1）



※期間：2015年8月～2020年8月（月次）

ISM製造業景気指数の推移（2）



※期間：2015年8月～2020年8月（月次）

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- ISM製造業景気指数は全米供給管理協会が発表する指数です。